

令和3年 5月31日
四国地方整備局野村ダム施設改良工事で
『技術提案・交渉方式』（ECI）を適用した発注に着手

～堰堤改良事業に全国初適用～

四国地方整備局では、『野村ダム施設改良工事』において、**堰堤改良事業で初めて**、「技術提案・交渉方式（技術協力・施工タイプ）」による調達方式を適用します。

野村ダム施設改良工事は、ダム放流能力を増強するために、ダム堤体を削孔して放流管を設置するものであり、ダムを運用しながらの工事であるため、安全に適切な工法で実施することが求められることから技術提案・交渉方式による調達を実施するものです。

技術協力業務の概要は以下の通りです。

◆野村ダム施設改良工事に係る技術協力業務の概要 [肱川ダム統合管理事務所]

業務名：野村ダム施設改良工事に係る技術協力業務

- 1) 業務種別：土木コンサル業務
- 2) 業務場所：愛媛県西予市野村町野村地先
- 3) 公告時期：令和3年度第2四半期
- 4) 業務期間：令和3年12月末～令和4年3月31日

◆野村ダム施設改良工事の概要

工事名：野村ダム施設改良工事

- 1) 工事種別：一般土木工事
- 2) 工事場所：愛媛県西予市野村町野村地先
- 3) 工期：約34ヶ月
- 4) 工事概要：
 - ・本體工（掘削工1式、増設減勢工（一部）1式、堤体削孔工1式）
 - ・仮設工（工事用道路（渡河橋）1式、ダム用仮設備1式、上流仮締切1式、作業用仮設構台1式）
- 5) 入札予定時期：令和4年度第2四半期予定
- 6) 工事発注規模：25億円以上50億円未満
- 7) その他：本工事は以下の対象工事である。
 - ・資機材見積活用方式
 - ・週休2日・現場閉所モデル試行
 - ・ICT（土工）活用工事（発注者指定型）
 - ・CIM適用工事

※本工事の他に、増設減勢工（一部）、ゲート設備、管理制御処理設備工事等は別途実施予定

この施策は、四国圏広域地方計画「No1南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト」及び「四国地震防災基本戦略」の取り組みに該当します。

<問い合わせ先>

国土交通省 四国地方整備局 TEL:087-851-8061 FAX:087-811-8412

制度に関すること：企画部 技術管理課長 たなべ 田邊 もりひで 守英（内線：3311）

工事に関すること：河川部 河川工事課長 さかもと 坂本 ゆうひこ 雄彦（内線：3711）

現地状況等に関すること：国土交通省 四国地方整備局 肱川ダム統合管理事務所

TEL:0894-72-1211 FAX:0894-72-3895

副所長 まつさか 松坂 こうじ 幸二（内線：204）

○『公共工事の品質確保の促進に関する法律(品確法)』第18条において、工事の仕様の確定が困難である場合に適用できる「技術提案の審査及び価格等の交渉による方式」を規定。

<主なポイント>

1. 適用工事の考え方を明記

① 発注者が最適な仕様を設定できない工事

例: 国家的な重要プロジェクト開催までに確実な完成が求められる大規模なものである一方、交通に多大な影響を及ぼすため、工事期間中の通行止めが許されないことから、高度な工法等の活用が必要な高架橋架け替え工事

② 仕様の前提となる条件の確定が困難な工事

例: 構造的に特殊な橋梁における大規模で複雑な損傷の修繕工事

2. 契約タイプとして3つの類型から選定

1) 設計・施工一括タイプ

⇒ 優先交渉権者と価格等の交渉を行い、設計及び施工の契約を締結

2) 技術協力・施工タイプ (ECI※)

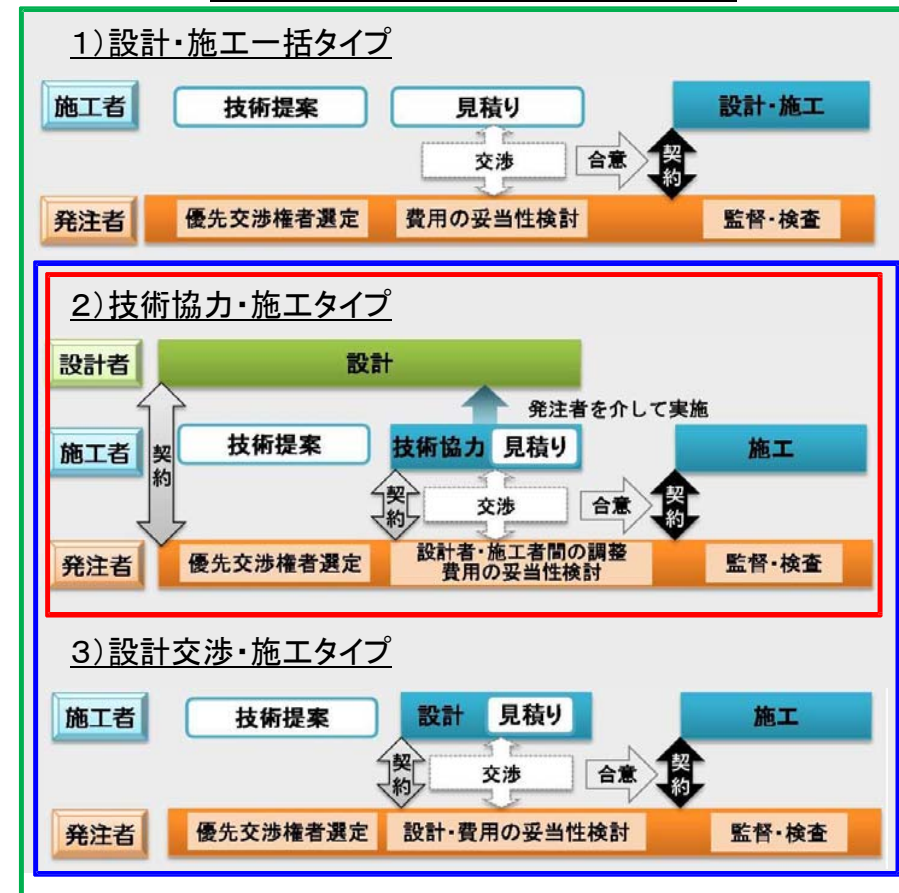
⇒ 優先交渉権者と技術協力業務を締結。別契約の設計に提案内容を反映させながら価格等の交渉を行い、施工の契約を締結

3) 設計交渉・施工タイプ (ECI※)

⇒ 優先交渉権者と設計業務を締結。設計の過程で価格等の交渉を行い施工の契約を締結

※Early Contractor Involvementの略

各契約タイプにおける手続の流れ



大規模な浸水被害が発生した平成30年7月豪雨と同規模の洪水に対応するために必要となるダム改良として、新たな放流設備を整備。

平成30年7月西日本豪雨に対する被害



西予市

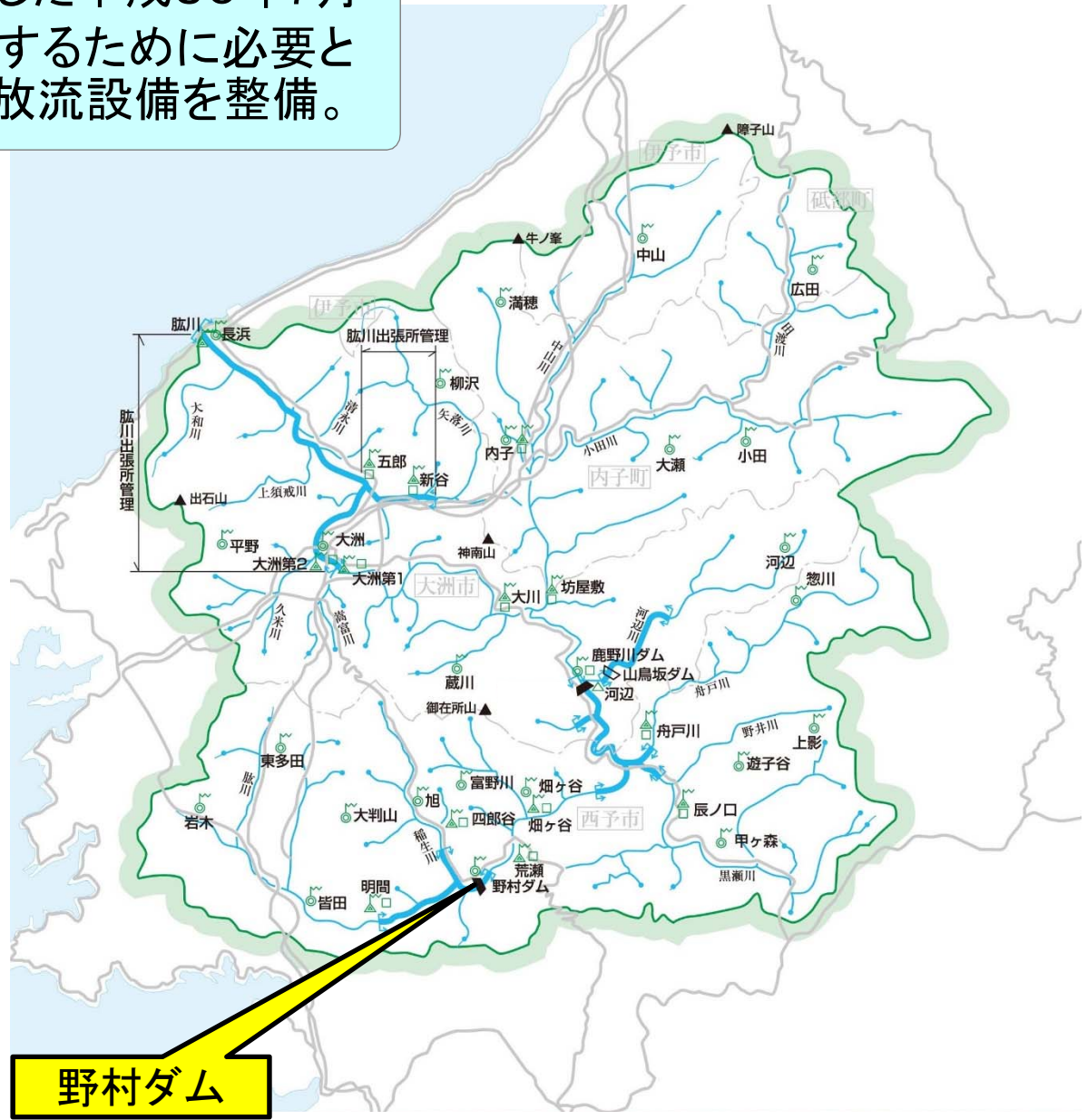
【被害概要】

- ・ 浸水面積：1,421ha
- ・ 浸水戸数：1,983戸
 (床上：1,169戸)
 (床下：814戸)

※平成30年水害統計調査より

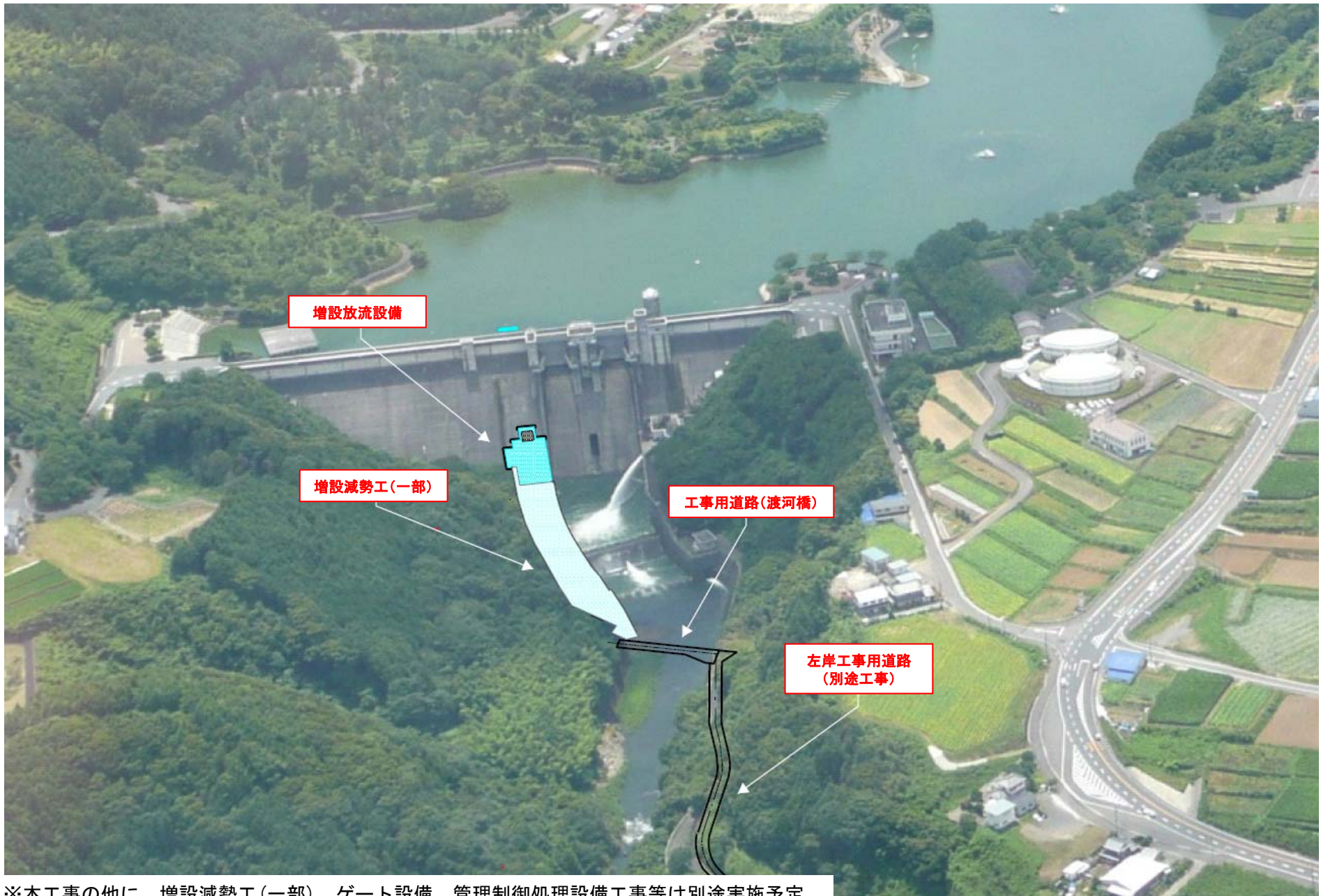


野村ダム



野村ダム

野村ダム施設改良工事の概要(イメージ)



※本工事の他に、増設減勢工(一部)、ゲート設備、管理制御処理設備工事等は別途実施予定